

平成 10 年 12 月 22 日

「フォ・マイ・ベビー・プラン」「夢の郷・としまランド」などユニークな提案も…

区政の課題を自分達で考えてみました

ー 区政モニター、テーマ別グループ発表会開催 ー

豊島区では、広聴活動のひとつとして、広く区民の意向を把握し、また区政に対する関心や理解を深めてもらうことを目的に、区民からの公募による「区政モニター」制度を毎年実施している。

40 名からなる区政モニターは、区政に関する連絡会議、施設見学会、区議会傍聴、モニター通信などのモニター活動を 4 月より行ってきたが、とりわけ今年度は「防災」「少子化」「環境・リサイクル」「高齢化」の 4 つのテーマごとに懇談会を持ち、グループ別に自主的な話し合いを進めてきた。10 月 5 日、11 月 9 日と開かれた懇談会では、各テーマに関係する課職員も同席し、区政の状況を説明したり、参加者の質問に答えるなどして討議を深めてきた。そして、本日懇談会の最終回にあたり、初の試みとして、これまでの検討の成果をまとめたグループ別発表会を行った。

午後 1 時 30 分より開催された発表会には、各テーマの関係各課長も出席し、グループごとに趣向を凝らした発表が行われた。

発表最初の「防災」グループは、地域防災の重要性に対する認識のもと、防災まちづくりの推進、地域防災組織の整備を区に対する要望として提言した他、「自分の命は自分で守る」という視点に立ち、区民として一人ひとりができるミニマムな対策を洗い出した。

次の「少子化」グループは、区がどのような子育て支援サービスを行っているかを芝居形式で展開。そうした情報をもっと若い世代から知っていれば、子どもを産み育てることへの不安解消につながると、子育て支援 PR の「フォ・マイ・ベビー・プラン」を提案。若い女性向のかわいいパンフレット見本を作って、ビジュアルに発表を印象づけた。

続く「環境・リサイクル」グループは、区が行っているパイロットプラン（資源分別回収事業）を中心に、回収品目の拡大、常設の回収ステーション設置等、回収システムのより一層の整備を提言。また、そうした実践と表裏一体のものとして、区民意識の啓発が重要だとし、PR の充実、標語の募集、リサイクル推進都市宣言などを提案した。

最後の発表となった「高齢化」グループは、「夢の郷・としまランド」をキーワードに、高齢者が元気で生きがいを持って暮らしていく地域づくりを提言。地域ネットワークやボランティア活動の推進など住民参加型福祉の実現と、社会福祉協議会を核とする福祉行政の改善策をパネルで説明、最後に全員が「夢の郷・としまランド」への思いを一言ずつ発表した。

2 時間にわたる発表の後、質疑応答、広報課長による講評も行われ、閉会となった。初の試みだったが充実した発表会に、モニター面々の区政に関する理解・関心はより深まった様子だった。

詳細：広報課

《「フォーマイベビープラン」趣旨抜粋》

そこで私たちは「フォ・マイ・ベビー・プラン」を提案します。それは今の若い人、特に女性たちに子供を産むのは怖いことでもなく、また一人で育てるのでもなく、仕事をしながら子育てはできるという情報を伝えるんです。そうすれば、未知の世界の子供を産む、育つということに対する恐怖感を和らげることができるのではないかと思います。これは実際、子供を抱えている私たちの経験から見ても「このような区の子供や女性に対する行政を前もって知っておけばよかったな」という意見からも明らかです。

それでは若い人達にどのようにこれらの情報を伝えるのかという問題があります。若い人達が持っている行政に対する感覚、それは行政でやることは固い、ダサイ、それから無関心です。そのためどうすれば関心を持ってくれるのかを考え作ったのがこの「フォ・マイ・ベビー・プラン」の小パンフレットです。

しかしここまで作ったのをただ区役所や出張所に置くだけでは効果はないと思います。若者やO・L、若い主婦たちの目につく場所に置くのが大切です。そのような場所—高校の体育時間とか、成人式場、母子手帳をもらうときはもちろん、病院や銀行の待合室、若者ならだれもがいくコンビニなどに置いたほうが一層効果があると思います。またテレビや広報でもこのようなパンフレットがあることを宣伝することも大切でしょう。

ネーミングは日本語よりは中卒くらいの人でもわかるくらいの簡単な英語で「For my baby」としたほうが「赤ちゃんのための〜」というよりは若い人に好感度があると思います。少子化問題はほかの問題と違って自分で選択できるものです。若い人の中には「子供はじゃま」「どう育てればいいかわからない」「仕事ができない」との理由で子供を生まなくなった人がたくさんいます。そのような人に子育てを支援してあげるシステムを紹介し、「これなら産んで見たい」という勇気を与えてあげるのが、このFOR MY BABY PLANであり、また少子化問題の対策になると思います。

《「夢の郷・としまランド」趣旨抜粋》

— 私たちの5つの願い —

- (1) 福祉教育や啓発活動の推進
- (2) 各種支援活動の充実
- (3) 安心して楽しく暮らせるための福祉環境の整備
- (4) 「夢の郷」づくりに誠意と実行力で対処
- (5) 社会福祉政策のための財源の確保